

8月30日 年間第 22 主日

## 心の姿勢

マルコによる福音書 7 章 1～8、14、15、21～23 節

<sup>1</sup>ファリサイ派の人々と数人の律法学者たちが、エルサレムから来て、イエスのもとに集まった。  
<sup>2</sup>そして、イエスの弟子たちの中に汚れた手、つまり洗わない手で食事をする者がいるのを見た。<sup>3</sup>——  
ファリサイ派の人々をはじめユダヤ人は皆、昔の人の言い伝えを固く守って、念入りに手を洗ってか  
らでないで食事をせず、<sup>4</sup>また、市場から帰ったときには、身を清めてからでないで食事をしない。  
そのほか、杯、鉢、銅の器や寝台を洗うことなど、昔から受け継いで固く守っていることがたくさん  
ある。——<sup>5</sup>そこで、ファリサイ派の人々と律法学者たちが尋ねた。「なぜ、あなたの弟子たちは昔  
の人の言い伝えに従って歩まず、汚れた手で食事をするのですか。」<sup>6</sup>イエスは言われた。「イザヤは、  
あなたたちのような偽善者のことを見事に預言したものだ。彼はこう書いている。

『この民は口先ではわたしを敬うが、  
その心はわたしから遠く離れている。

<sup>7</sup>人間の戒めを教えとしておしえ、  
むなしくわたしをあがめている。』

<sup>8</sup>あなたたちは神の掟を捨てて、人間の言い伝えを固く守っている。」

<sup>14</sup>それから、イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた。「皆、わたしの言うことを聞いて悟りなさい。  
<sup>15</sup>外から人の体に入るもので人を汚すことができるものは何もなく、人の中から出て来るものが、人  
を汚すのである。」

<sup>21</sup>中から、つまり人間の心から、悪い思いが出て来るからである。みだらな行い、盗み、殺意、<sup>22</sup>姦  
淫、貪欲、悪意、詐欺、好色、ねたみ、悪口、傲慢、無分別など、<sup>23</sup>これらの悪はみな中から出て来  
て、人を汚すのである。」

他の朗読：申命記 4:1, 2, 6～8 詩編 15:1～5 ヤコブ 1:17, 18, 21, 22, 27

## Lectio …読む

律法上の「清さ」と「汚れ」についてのイエスの教えは、彼の地上での宣教の間も、異邦人の回心  
者たちが教会に参加するようになった後も、議論を起す問題でした。

マルコは元々ユダヤ人ではなかったキリスト者に向けて書いているので、この問題を議論するの  
です。もちろん、神がユダヤ人の人々に食べ物と衛生について細かな規則を与えたことは確かです（レ  
ビ 11 章参照）。

ここでイエスは、ふたつの問題を取り上げます。後に加えられた人間が作った規則と、律法的に人  
を清くしたり、汚したりするものの正体についてです。

時を経る間に、宗教上の指導者たちは、神の律法に彼ら独自の規則を付け加えていたようです。更  
に悪いことには、神の本当の掟をないがしろにして、この人間が作った規則を強調していたのです（7、  
8 節）。

イエスはこの何世紀にもわたるユダヤの伝統に挑みます。食べ物のような外部のもので汚されるこ  
とはありません。あなたの心から出て来るものが、あなたを汚すのです。ここから悪い考えが生まれ、  
悪い行動に繋がるからです。

イエスは人々が「正しい」ことを話したり、行ったりすることに興味を持ちません。もし見えない

心の有り様が正しくないなら、意味がないからです。多くのファリサイ派の人々が本筋を失ってしまっていました。神が私たちに望むのは、純粋な愛の心で神を称え、神に仕えることです。あなたは人間が作ったたくさんの規則をどれだけ遵守していたとしても、純粋な心を持っていなければ神の前に偽善者なのです。

## Meditatio …黙想する

あなたの心の姿勢をよく考えてみましょう。あなたは愛の表れとして神を称え、神に仕えているでしょうか。それとも、表向き規則を守り、「正しいこと」を行うことにもっと注意を払っているでしょうか。イエスは何を望むと思いますか。

ファリサイ派の人々は物事の優先順位を間違えていました。あなたの優先順位もよく考えてみましょう。何か改めるべきことがあるでしょうか。

## Oratio …祈る

あなたが清い心を保ち、いつも神を賛美し、神に仕え、他の人々に愛の行いをする事が出来るよう、神の助けを願いましょう。

詩編 15 編は神の内にある人々について描写しています。神を喜ばせること、喜ばせないことのリストを作ってみましょう。あなたがなすべきことをなし、神を悲しませることを拒否することが出来るように、助けを願いましょう。

## Contemplatio …観想する

他の朗読の申命記の箇所は、モーセがイスラエルの民に神の掟を宣言し始めた様子を語ります。民は神の掟に何一つ加えることも、減らすこともないように厳しく命じられます。これこそ福音朗読の中でイエスがファリサイ派の人々に対峙したことです。

今日のヤコブ 1 章からの箇所は、神に聞き従うことのテーマを続けます。私たちは 22 節で私たち自身を欺かないように警告されています。単に神の望みに耳を傾けるだけでは不十分です。それを実行しなければならぬのです。困難にある人を助け、この世のものに汚されない霊性を保つことが、信仰を確かなものとしてくれるでしょう。